

平成25年度事業報告

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

1. 科学技術に関する普及、調査研究及びこれらに対する助成に関する事業

(1) メカトロニクス技術・ロボット技術の普及活動と助成事業

① マイクロマウス2013（第34回全日本マイクロマウス大会）の開催

本年度で34年目となる全日本マイクロマウス大会は、昨年度よりその大会運営について大学を主体とする事とし、マイクロマウス委員会とは別に、本格的に年度毎の実行委員会を設け大学中心の体制で準備・運営することとしてきた。

4月から中村文一実行委員長（東京理科大）以下、50名を超える実行委員会が構成され、5月に第一回の実行委員会が行われた他、8月には今年度大会会場となった流山市生涯学習センターの体育館および選手控室となる会議室の事前確認を行った。

その後も委員会メーリングリスト等でその準備については活発に進められ、二年目の実行委員会と言う事も有り、昨年の実績を活かす形での運営ノウハウが確立しつつある。

大会当日は昨年にも増して多くの参加者が有ったにも関わらず、参加者主体のボランティアは延べ200名を超え、事前に実行委員等によって準備された運営マニュアル等の効果も有り、非常にスムーズな運営が行われた。

今年度のマイクロマウス2013は、全競技への参加台数制限を各1台と設けた事で、例年よりも参加台数が減る事も予想されたが、結果的には総登録数369台（昨年度：347台）と、特に若年層や初心者を中心に更に大幅に増加しただけでなく、久しぶりに全競技種目において国内選手が優勝したことは特筆に値する大会となった。

マイクロマウス2013（第34回全日本マイクロマウス大会）

- ・会場：流山市生涯学習センター（競技会場：体育館）
- ・日程：2013年11月22日(金)～24日(日)

- ・主催：公益財団法人ニューテクノロジー振興財団
- ・運営：マイクロマウス2013実行委員会 委員長：東京理科大学 中村文一
- ・運営協力：マイクロマウス・サポーターズ、ほかマイクロマウス関係団体
- ・共催：公益財団法人つくば科学万博記念財団
- ・後援：経済産業省、文部科学省、公益社団法人計測自動制御学会、流山市教育委員会、
一般社団法人日本機械学会、一般社団法人日本ロボット学会
- ・特別協賛：株式会社アールティ、公益財団法人オリエンタルモーター奨学財団、
学校法人東京理科大学、バンダイナムコグループ、
マイクロテック・ラボラトリー株式会社
- ・協 賛：株式会社イクシスリサーチ、エフテック株式会社、スマッツ株式会社
光進電気工業株式会社、学校法人東京工芸大学、株式会社三平商会
タッチエンス株式会社
- ・賞品提供：関係各社（協賛企業を含む）
- ・参加登録総数：369台（昨年度総数347台）

	参加登録台数	昨年参加台数	一昨年参加台数
・ロボトレース競技	126台	112台	95台
・マイクロマウス競技（フレッシュマンクラス）	116台	100台	99台
・マイクロマウス競技（エキスパートクラス）	83台	92台	91台
・マイクロマウス競技（ハーフサイズ）	44台	43台	33台

※参加者種別比率

種別	人数/2013	比率 (%)	人数/2012	比率 (%)
社会人	86	23	105	30
大学・大学院	183	49	173	50
専門学校等	50	14	31	9
高校生	33	9	30	9
中学生	17	5	8	2
合 計	369	100	347	100

※その他、昨年につき、表彰式前に技術講演会を開催した。今年度は加藤雄資氏（元名古屋工業大学 現、(株)デンソーウェーブ所属）に講師を依頼。

加藤氏は2012と2013のマイクロマウスクラシック競技エキスパートクラスで二年連続優勝を獲得。講演テーマは「マイクロマウストラブル事例2013」

※各競技上位入賞者（ロボット名／氏名）

・マイクロマウス（ハーフサイズ）競技

- | | | |
|------|--------------|------------------|
| ・優勝 | こじまうす9 | 小島 宏一 |
| ・第2位 | Excel:mini-3 | Khiew Tzong Yong |
| ・第3位 | Rush | Rayhan Raj Kumar |

・マイクロマウス競技 エクスパートクラス

- | | | |
|------|---------|-----------------------------|
| ・優勝 | Tetra | 加藤 雄資 |
| ・第2位 | さくらねずみ5 | 佐倉 俊祐 |
| ・第3位 | Diu-Gow | CAI, XIN-HAN / WU, YU-CHENG |

・マイクロマウス競技 フレッシュマンクラス

- | | | |
|------|--------------|-------|
| ・優勝 | FRAGILE013MM | 河野 純也 |
| ・第2位 | カブトガニ野郎 | 田所 祐一 |
| ・第3位 | OPENER | 長野 恵典 |

・ロボットレース競技

- | | | |
|------|--------------|-------|
| ・優勝 | Cartis03 | 平井 雅尊 |
| ・第2位 | FRAGILE013RT | 河野 純也 |
| ・第3位 | Whitetip 3.0 | 落合 誠治 |

② マイクロマウス地区大会等の開催と助成

前年度同様、下記の各支部主催の地区大会・学生大会を共催すると共に助成を行った。

- | | | |
|----------|-----------|------------------|
| ・7月14日 | 関西地区大会 | 京都コンピューター学院 |
| ・8月4日 | 金沢草の根大会 | 金沢工業高等専門学校 |
| ・9月1日 | 中部地区初級者大会 | 名古屋工学院専門学校 |
| ・9月29日 | 東日本地区大会 | 東京科学技術館 |
| ・10月13日 | 東北地区大会 | 山形県長井市地場産業振興センター |
| ・10月20日 | 北陸信越地区大会 | 新潟大学（※初開催） |
| ・10月26日 | 九州地区大会 | 熊本高等専門学校 |
| ・10月27日 | 中部地区大会 | 名古屋工学院専門学校 |
| ・11月2～3日 | 全日本学生大会 | 早稲田大学 |

③ -1 つくばチャレンジ2013

※つくばチャレンジの第1フェーズの実験は、5年間を経過した2011にて一旦終了。
2013年度から新たに5年間程度の第2フェーズの実験を行う事となった。

新たに「自立型移動ロボットがつくば市内の決められた遊歩道や広場を走行して、複数の探索エリアで、きめられた服装の人間を見つけて来ること」という技術課題が加えられた上で、7月6日から11月16日迄9回の実験走行および最後に本走行が行われた。

- ・日程：2013年11月17日(日)公開本走行
- ・主催：つくば市、つくばチャレンジ実行委員会
- ・協力：公益財団法人ニューテクノロジー振興財団 他関係団体
- ・参加登録：44チーム(47台)
- ・課題達成：3チーム
 - ・筑波大学 知能ロボット研究室 卵かけ御飯(る〜ぶ)
 - ・防衛大学校 滝田研究室 (Smart Dump7)
 - ・尾崎研究室チームA (MAUV)

③ -2 つくばチャレンジ2013シンポジウム

- ・日時：2014年1月7日(火) 10時～16時
- ・筑波大学 大学会館ホール 大学会館特別会議室 および 総合国際交流会館
- ・課題達成3チーム他による技術内容紹介(午前中)
- ・つくばチャレンジ2013参加チームによるポスター発表(午後)

(2)その他の普及活動

①一般財団法人日本視聴覚教育協会他と共催し、全国こども科学映像祭を実施。

表彰式・上映会：2014年2月9日(日) 日本科学未来館

(※荒天の為中止となり、文部科学大臣賞については直接受賞者を訪問授与した)

②広報事業

ホームページ上で財団アクティビティ情報の更新、マイクロマウス2013の結果ならびに地区大会結果の掲載、ほか、メールマガジンの発行等の情報提供サービスを実施。

【事業報告の附属明細書について】

なお、法律および当財団定款に規定された「事業報告の附属明細書」については、今年度については「事業報告の内容を補足する重要な事項」は存在しないので、作成しない事とします。

以 上